

「小鴨と上小鴨小」「北谷と高城小」

統合、24年の開校目指す

倉吉市教委方針

倉吉市教委の小椋博幸教育長は6日の市議会本会議で、小鴨小(同市中河原)と上小鴨小(同市福山)、北谷小(同市沢谷)と高城小(同市上福田)をそれぞれ統合し、二つの新しい学校として開校する方針を明らかにした。児童数減少に伴う小中学校適正配置計画

に基づくもので、2024年春の開校を目指す。来年度を重要年と位置づけ「円滑な統合になるようしっかりと取り組む」と述べた。

小鴨、上小鴨小の統合では7月、単独存続を望んでいた上小鴨小校区の住民が保護者の意向を受けて統合を決定。12月16日に最初の統合準備委員会を開く。校舎、校名、校歌は小鴨小のものを活用し、校章は新しく検討する方針。

北谷、高城小は11月末に統合を決定。当初は杜小(同市国分寺)、久米中(同市横田)を含めた義務教育学校の設置を検討していたが、協議に時間を要するため2校の統合を優先した。校舎は高城小を活用し、北谷地区の児童をスクールバスで通学させたいとの希望が出ていたという。

また、将来的に計画されている成徳、灘手小統合後の新小学校和明倫小(同市余戸谷町)の統合時期について、小椋教育長は「(明倫小の)複式学級化が一つの目安だが、それより早く保護者の声が出れば検討する」と述べた。

本会議で藤井隆弘議員(くろよし)の質問に答えた。市教委は、必要に応じて補助金を交付する方針だ。

スコアボード電光掲示へ

米子市民球場、市が方針

プロ野球公式戦が行われ

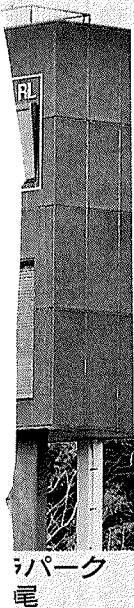
同球場は1990年、東

や米子少年野球連盟などから同様の要望があった。

市は来年度から調査設計に着手する方向で検討。伊

木隆司市長は「山陰最大級の野球場を今後も存続させる施設として位置付けている。地元からの要望もある

ことから改修を検討している。必要なら大型第2種や普通第2種免許の取得費用と、新規採用にかかる広報費などを補助する。



パーク

プロ野球公式戦が行われ

同球場は1990年、東